古河市文化協会

文協ニュース

Koga City Cultural Association

第 33 号(2026.5 発行)

文化協会 15 周年記念式典・新年会　　令和８年１月 18 日（日）

当日は、天候にも恵まれ 172 名の文化協会加盟団体のメンバーが共和電設とねミドリ館に集まり、古河市文化協会 15 周年記念式典及び新年会を開催することができました。

今年は、恒例の新年会と合わせて、15 周年記念式典を特別に実施しました。記念式典のイベントは三和書道連盟の笠島良明氏による書初めの披露から始まりました。ステージで、『慶』の文字を揮毫（きごう）していただきました。『慶』という文字には“おめでたい”という意味だけでなく、“幸せを運ぶ”という願いも込められていると話されていました。式典に相応しい迫力ある文字を、力強く書き上げられていて見事でした。

また、記念ミニコンサートとして、ゆきはな音楽祭でも御活躍のソプラノ歌手、小林麻裕弥先生に登場していただき、素晴らしい歌声を聞かせていただきました。ピアノ伴奏は、関根操子さんにお願いしました。

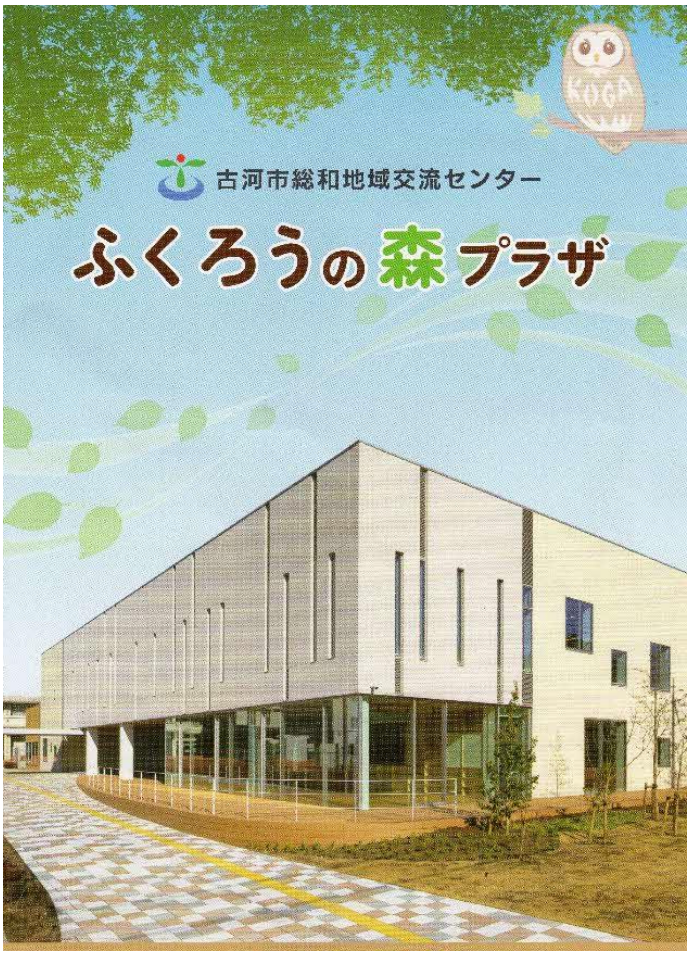
主な曲目は『蘇州夜曲』、『カチューシャの唄』、歌劇「蝶々夫人」より『ある晴れた日に』、そして『たんぽぽのうた』でした。のびやかな歌声が、会場いっぱいに広がりました。最後の『たんぽぽのうた』は古河市民愛唱歌集（1958 年）に収められており、作詞は立石和正、作曲は橋本千恵子、編曲が中野篤親による作品で、どこか懐かしい趣が感じられました。

式典の中で、歴代の会長の紹介とあいさつもあり、協会の 15 年間を懐かしく振り返ることができました。最後に、参加者全員で恒例の新年の歌い始めとして『一月一日』、『ふじの山』、『早春賦』を斉唱し、新年らしい雰囲気を味わいました。さらに、古河甚句の総踊りも行われ、記念式典・新年会がいっそう盛り上がりました。

ふくろうの森プラザ

３月１日(日)に、新しく完成した TSURUTA ふくろうの森プラザ（総和地域交流センター）で、文化協会の活動体験会がおこなわれました。合併 20 周年の節目に完成した建物で、市民の交流や活動の拠点として地域のシンボルとなり、賑わいの形成をねらった施設です。『集う・学ぶ・繋がる』をコンセプトとした“新しい古河の森”を目指しているそうです。

施設は２階建ての建物で、１階には多目的ホール、和室、児童図書コーナー、創作室、研修室、交流サロン、図書エリア、授乳室があります。多目的ホールの定員は 230 人で、いろいろなイベントの開催が可能です。当日は、古河大使の浅野恭司氏が公開でキャンパスに原画を描くイベントやサイン会があり、たくさんのお客さんが目を奪われていました。２階には音楽室、多目的室、研修室、調理実習室、自習室、個別自習室、そしてラーニングスペースがあり、いろいろな活動ができそうです。



完成した TSURUTA ふくろうの森プラザ

一般エリアの開館時間は図書の閲覧も含めて９時から 22 時までですが、図書の貸し出しは９時から 17 時までです。

当日は、古河市総和絵画連盟、古河市民謡協会、古河市民管弦楽団、アロハフラ愛好会、総和将棋クラブ、古河アマチュア無線クラブ、総和華道協会の皆さんが各部屋に分かれて、新しい施設での活動を体験しながら交流を楽しんでいました。

文化講演会　～うつくしい、命～　　講師　大島　花子

大島花子さんを囲んで

３月 14 日（土）に野本電設工業コスモスプラザ多目的ホール（三和地域交流センター）で講師に大島花子さんをお迎えして、文化講演会を開催しました。大島さんは、坂本九さん、柏木由紀子さんの長女として生まれ、歌手として 2003 年にメジャーデビューしました。当日は、ジョン・レノンの名曲の「イマジン」を講演会の冒頭に歌ってくれました。日本語の歌詞からは、命を粗末にせず平和になってほしい気持ちが伝わってきました。また簡単な手話の紹介もあり、挨拶の仕方も披露していました。ＵＳＥＮ１位を獲得した坂本さんが作った「親父」も披露されました。お父様を飛行機事故で突然亡くした出来事や東日本被災地を訪問した際の様子も語ってくれました。「行ってらっしゃい、そしてお帰りなさい」という日常がとても大事ではないかとも語ってくれました。アメリカに行った際に耳にした、「上を向いて歩こう」が現地では「スキヤキ」の題名でヒットしたことも伝えてくれました。この歌では、言葉を知らなくても思いが伝わったというエピソードも加えて、会場の皆さんと手拍子を交えつつ、心温まる交流のひとときをつくってくださいました。

古河桃まつり演奏　　古河吹奏楽団

古河桃まつり会場での演奏

天気に恵まれた３月 28 日（土）、古河公方公園で開催された第 50 回古河桃まつりのステージイベントに 35 名で参加しました。桃が、満開の中、野外ステージで気持ちよく、演奏することが出来ました。前日まで、雨が心配で不安でしたが、晴天になりうれしかったです。曲は、ヤング・マンに始まり、青と夏、アイノカタチ、アマポーラ、ジャンボリミッキー！、マツケンサンバⅡを披露しました。途中、お客様から手拍子も入れていただき、楽しい雰囲気になりました。お客様からは、アンコールの声もあがったので、再度、ジャンボリミッキー！を演奏しました。

今後の予定　　第 57 回定期演奏会　　野木エニスホール　入場料金 500 円

ウインターファミリーコンサート　　古河シティウインドオーケストラ

コンサートが終わって

今年も、２月２３日（月祝）に野木エニスホールで、指揮に音楽監督の萩原亮彦先生にお願いして、ウインターファミリーコンサートを実施しました。当日は、６３０人とたくさんのお客さんに来ていただきました。今回も未就学児は、入場無料で実施しました。大人から子どもたちまでに楽しめるような曲を用意しました。コンサートは、２部構成で、ライオンキングメドレーに始まり、ライラック、アンパンマンメドレー、英雄の証を演奏しました。恒例の指揮者コーナーでは会場でジャンケンに勝ち残った３名の方に指揮をしてもらい、和やかな雰囲気に包まれました。後半は、ハウルの動く城、かわいいだけじゃだめですか？、松田聖子ヒットメドレー、76 本のトロンボーン、ディープパープルメドレーを聴いていただきました。

次回予定：第２９回定期演奏会　　６月２８日（日）　　野木エニスホール

雀神社春祭り　　古河神楽保存会

古式ゆかしく粛々と

毎年恒例の雀神社の春祭りが４月１２日（日）に開催され、古河神楽保存会の皆さんが神楽を奉納しました。当日は天気に恵まれ、神楽殿において家内安全、五穀豊穣を祈願して、永代太々神楽を格調高く舞いました。春祭日に奉納される太々神楽は出雲流神楽で、天地開闢などの神話や日本神話に登場する神々の舞を演じる、信仰に密着した民俗芸能です。神楽を拝見することで、祖先の祈りに思いを馳せることができます。